

第29回山形県地方港湾審議会議事録要旨

- 1 日 時 令和2年1月30日(木) 14時00分～15時30分
- 2 場 所 県庁講堂
- 3 付議事項 第1号議案 酒田港港湾計画の改訂について
 - ・酒田港港湾計画の改訂について
 - ・計画段階評価について第2号議案 酒田港の臨港地区内の分区の指定の変更について
- 4 出席委員 徳永会長、加藤委員、平岡委員、本間委員、松浦委員、泉委員、川手委員、丸山(矢口)委員、皆川(仲川)委員、吉田(宮地)委員、佐藤(川上)委員、小島(高橋)委員、辰巳屋委員、岸本(大坪)委員 14名
- 5 欠席委員 弦巻委員、前田委員、相馬委員、小関委員、伊藤委員 5名
- 6 事務局報告

山形県地方港湾審議会条例第6条第3項の規定により、本審議会が開会要件を満たしていることを報告した。

- 7 酒田港を取り巻く最近の情勢について
事務局から、資料に基づき説明した。質問、意見はなかった。

8 議 事

(1) 議事録署名委員の指名

議長から、加藤委員、平岡委員が議事録署名委員に指名された。

(2) 審議

- 第1号議案酒田港港湾計画の改訂について、事務局から資料に基づき説明し、適当と認められた。

(主な意見)

- ・防波堤の形状について、漁業者の理解は得ているか。
- ・防波堤は3つの案を比較検討し、流下土砂が最も港内に流れこみにくい案を選定したとのことだが、他の案の方が流下土砂は港内に流れこみにくいのではないか。
- ・港口の方向はどうなっているか。
- ・船舶状況旅客数は、計画書では5万人となっているが、説明資料では7.4万人となっている。
- ・利用形態の見直しの検討が必要な区域として、モーダルシフト等に対応するための埠頭開発を検討する区域と小型のクルーズ船の受入れを検討する区域を位置付けるとのことだが、それぞれの見直し時期はいつごろを想定しているか。また、その検討の結果、再度港湾計画を改訂することになるのか。

- 第2号議案酒田港の臨港地区内の分区の指定の変更について、事務局から資料に基づき説明し、適当と認められた。質問、意見はなかった。

以上